

つのだ ゆうすけ
角田 佑介 さん (35歳)

(営農類型：果樹)
(中山間)

新規就農までの経緯・背景

非農家出身。正社員として民間企業に勤めていたが、農業という仕事に将来性を感じ、農業法人で2年間研修後、地元甲州市の市単事業で1年間研修し、平成26年、同市で農地を確保して就農。

農業次世代人材投資資金 の活用例

中古農業機械の購入等



経営発展のポイント

- ・果樹専業とし、モモとブドウの農地を確保して徐々に面積を拡大。
- ・近隣農家の紹介で成園を取得し、1年目から収量を確保。
- ・収穫ロスを低減させるため、ブドウ病害虫の適期防除、モモの適期収穫に努めている。
- ・JA出荷により販売先を確保。
- ・妻が専従者となるとともに、両親の手伝いも随時得ることにより、負担の大きい雇用費を抑制。

今後の取組

- ・雇用による労働力確保や、省力化技術の導入などにより、規模拡大を図っていく。
- ・子育てと両立しながら経営発展を図っていく。

経営の推移と今後

経営初期 (1年目)

モモ 20a
ブドウ 16a



2～3年目

モモ 50a
ブドウ 32a



現在 (4年目)

モモ 50a
ブドウ 32a



今後の目標 (5～7年目)

モモ 50a
ブドウ 42a

- ・平成26年に経営開始。
- ・妻の農外収入と合わせて生計を立てる。
- ・農業所得は約183万円。

- ・妻が専従者となる。
- ・中古のリフトを購入し機械を全て揃える。
- ・農業所得2年目約180万円。

- ・ブドウの病害が多発した年だったが、適期防除により収量確保。単価良好。
- ・農業所得は約240万円。

- ・雇用による労働力確保や、省力化技術の導入などにより、規模拡大を図っていく。
- ・農業所得目標は250万円以上。